

第28回高松市中心市街地活性化協議会（書面議決）

開催結果

1. 通知年月日 令和2年5月13日
2. 案内先 委員23名
3. 概要

議題（1）会長の選任について

選任された会長：学校法人四国高松学園高松大学 学長・理事長 佃 昌道 氏

副会長について、佃会長から次の2名の指名があった。

指名された副会長：高松商工会議所 専務理事 安藤 照文 氏
高松丸亀町まちづくり株式会社 専務取締役 明石 照夫 氏

議題（2）監事の選任について

選任された監事：社会福祉法人高松市社会福祉協議会 常務理事 田中 克幸 氏
高松市南部商店連合会 会長 河合 政弘 氏

議題（3）令和元年度 第3期高松市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ に関する報告（案）並びに報告（案）に対する事務局（素案）について

提出された意見をもとに下記のとおり、高松市に提出した。

記

第3期基本計画の認定から、9か月が経過した令和元年度の取組状況は、全48事業のうち、37事業が継続実施中、11事業が未完了（うち1事業が未着手）となっており、基幹事業として位置づけられている再開発事業等が未実施となっているため、直接的な効果は表れていない。

目標指標の達成状況からみると、3年に1回開催の瀬戸内国際芸術祭や芸術祭県内連携事業の実施もあいまって、国内外からの来場者数の増加や商店街への回遊が生まれたことから、歩行者通行量の増加、主要観光施設入込客数に繋がり、にぎわい創出に一定の効果があった。

一方、中心市街地の社会動態の増加については、区域内におけるマンション建設が未完了であり、大幅な人口増につながらなかったため、現時点での成果はまだ見えにくい状況にある。

第3期計画の実効性を高めるために、課題解決に向けた検討、進捗管理を行うことを目的としたワーキンググループを、南部3町商店街活性化をテーマに設置しており、南部3町及び亀井町が交差する4町パティオ広場の有効活用等、南部商店街の活性化に向け、更なる協議を進め、事業内容を充実させる必要がある。

また、歩行者等通行量の指標においては、瀬戸内国際芸術祭による通行量増加の要素はあるものの、目標値と最新値との間で大幅な乖離が見られるため、今後の推移を見ながら数値の分析を検討されたい。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるインバウンドの大幅減や消費の落ち込み等により、今後、厳しい状況が続くと想定されるが、収束状況を見極めつつ、官民協働のもと中核事業を中心に基本計画の積極的な推進を行い、早期に目標指標が達成され、更なる中心市街地の活性化が図られるよう取り組んでもらいたい。